

【第4回 佐賀県鳥インフルエンザ対策本部会議】 11月26日

農林水産部長／8時現在、処分羽数3万20羽、進捗率は78%。

殺処分の作業動員数は、県、鹿島市、JAで367名。消毒ポイントは、県と建設業協会が66名。現地対策本部、サポートセンターを含め、動員者数は合計830名。

消毒ポイントの設置状況に変更はない。県内7か所（畜産車両4か所、一般車両6か所、うち3か所は重複）すべてで運用を始めている。

県内の養鶏農家には連絡済。一部電話が通じないところを除き、ほぼ全養鶏農家に連絡。移動、搬出の自粛、消毒の徹底を要請中。

昨日、消石灰の必要量を確保し、地域の各資材センターに送付済。各農家は、本日までに取り、散布をお願いした。

殺処分は、あと2割ほど。同時に、ミッペールへ封入。その後、発生農場内を消毒、消石灰を散布し防疫措置を進める。

引き続き、野鳥の重点監視も行う。

また、ミッペールが確保できる見込みとなった。

防災監／作業は順調に進み、10棟のうち7棟が終了した。残り3棟に着手。このまま進めば、本日15時前後に殺処分が完了する見込み。

その後、フレコンに仮詰めしたものをミッペール容器に詰め替える。卵やタンク内の飼料、ケージ下の鶏糞を処理し、消毒作業に移る。

鹿島市長／鹿島市内の皆さんに今朝、現状と今後の対応について屋内放送をした。消毒ポイントや交通規制への協力、市販の鶏肉・鶏卵は安全であること、風評被害への注意を周知した。

県土整備部長／昨日17時までに全7か所の消毒ポイントの設置を終了し、消毒作業を開始。地元の藤津建設業協会以外に、全県的に、佐賀、小城、杵島、伊万里の協会からも協力を得て作業を進めている。

昨日、夕方に設置したため、作業数は4台。本格的な運用は今日から。作業は24時間体制の3交代制。

健康福祉部長／昨夜、殺処分に従事し、体調不良を訴えた女性職員が1名。現在は回

復した。引き続き、職員のサポートを行う。

警察／昨日から、鹿島署、白石署、警察本部の警察官を派遣。消毒ポイント周辺の警戒を行っている。今回のポイントの多くは国道に位置し、交通量も多い。交通量と時間帯を考慮した警戒を行う予定。

落合副知事／昨日朝9時から殺処分を開始。24時間、夜を徹して作業を続けてきた。大きな事故もなく、8割近くまで進捗。

今回の殺処分は、様々な機関からの協力がある。鹿島市は、殺処分やサポートセンターに職員を派遣。JAは人員派遣だけでなく、現場での炊き出しにも協力してもらった。建設業協会は、県内7か所の消毒ポイントでの作業。バス・タクシー協会は、人員の輸送。トラック協会は、資材の運搬。高圧ガス流通保安協会、佐賀県石油商業組合は、ガスや燃料を提供。農水省は、リエゾンとして全面的なサポート。

鳥の殺処分で使用するミッペールは、九州各県と県内各機関から在庫を提供してもらい、確保の目途が立った。

本日、15時前後に終了見込み。事故なく終えるよう、努力をお願いします。

昨日、鹿島で死亡カラスの陽性を確認。野鳥の感染リスクに危機感を持つ必要がある。全養鶏農家に、消毒の徹底、野鳥の侵入防止等、感染拡大防止への対応をお願いします。

殺処分の作業も終盤。力を合わせ、乗り越えたい。